

平成30年度日本学生支援機構大学院第一種奨学金  
「特に優れた業績による返還免除」申請要領

返還免除を申請される方は、2の提出書類を平成31年2月15日（金）までに学生支援課（挟間キャンパスは学務課）に提出してください。

1. 配布資料

- ①「特に優れた業績による返還免除制度」の概要 資料1 2枚：学生用と指導教員用
- ②「業績優秀者返還免除申請書」（記入例） 資料2
- ③「業績優秀者返還免除申請書」用紙（両面印刷） 様式1-1, 様式1-3
- ④「業績一覧表」（記入例） 資料3
- ⑤「業績一覧表」用紙（両面印刷） 様式1-2
- ⑥チェックシート
- ⑦「業績を証明する資料 表紙」

申請書等様式は1月10日から大学ホームページよりダウンロードできます。

(<http://www.oita-u.ac.jp/08campus/shien-shogakukin.html>) 手書きでも、入力でも可。

2. 提出書類

- ①チェックシート 1部
- ②業績優秀者返還免除申請書（両面）、業績一覧表（両面）、指導教員等の推薦理由  
様式1-1（表裏）、様式1-2（両面）、様式1-3 各2部  
1部は原本、1部はコピーで。パソコンで作成しても可。氏名だけは自署すること。  
指導教員が様式1-2を学生支援課に直接送付する時は、提出時にその旨を伝えてください。
- ③大学院の成績証明書（個人で取る必要はありません） 2部  
全員提出ですが、こちらでまとめて学務係に依頼しますので不要です。
- ④特に優れた業績を証明する資料（③の添付資料） 各2部

2部ともコピーで可。

奨学金貸与期間中の業績であることが客観的に分かる書類でなければなりません。また、専攻分野に関連した業績でなければなりません。できれば両面コピーをお願いします。

※全ての資料の1枚目には「業績を証明する資料 表紙」を必ず付けて、クリップ止めか輪ゴム止めして提出してください。製本はしないでください。なお、目次等は本人氏名が分かるようにマーカーで印を付けてください。「業績を証明する資料 表紙」は必要部数をコピーして使ってください。電子データが必要であれば、担当に連絡いただければメール添付で送ります。

(証明資料の例)

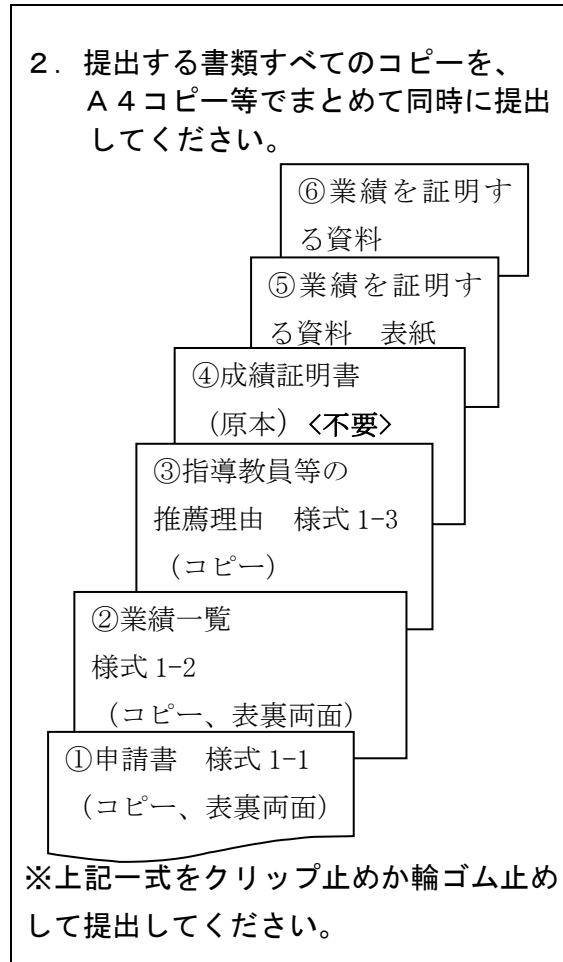
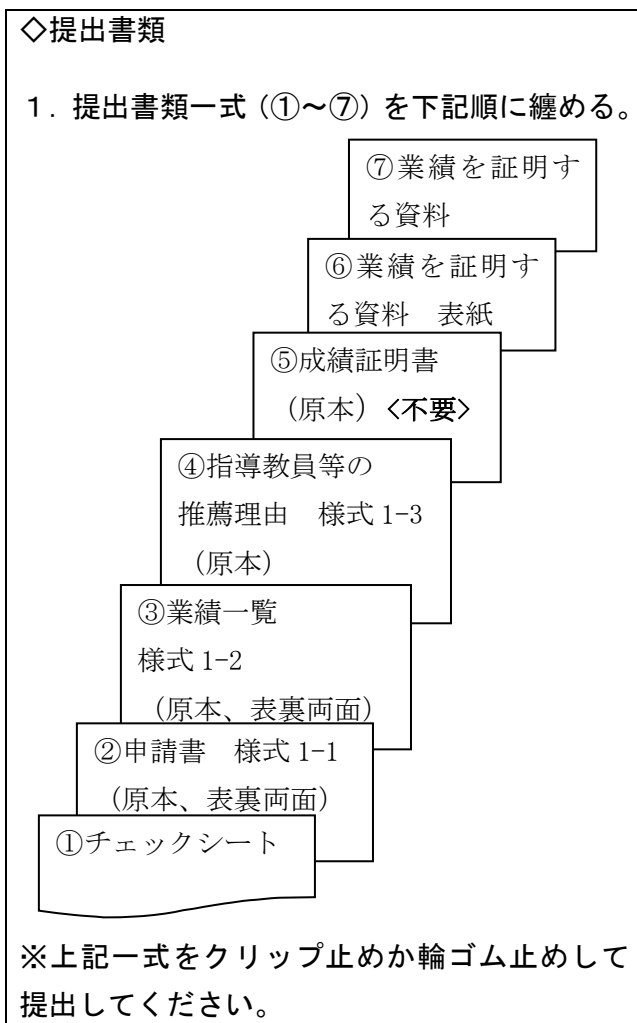
- 学位論文その他の研究論文…優秀な業績として申請する論文の作者（本人）名、作成年月及び論文タイトルが分かる部分のコピー等と論文のアブストラクト（要旨）です。専攻での審査では学位論文が不要な専攻もあるようですが、優秀な業績として申請する場合は、必ず提出が必要です。
- 学会発表…プログラムの表紙（学会名、日付）、目次（本人氏名）、内容等のコピーです。
- 論文掲載…表紙（雑誌名、発行巻数等の分かるもの）、目次（本人氏名）、内容等のコピーです。
- 受賞…本人氏名、年月日の分かる賞状等のコピーです。
- ボランティア活動その他の社会貢献…ボランティア活動を行っていたことを、主催者等本人以外の第三者が証明しているもので、活動期間、活動内容と本人氏名が確認できるものです。趣味やサークル活動での業績など専攻分野に関連しない業績は、認められません。
- RA・TA…学部で在職期間証明書等を発行してもらってください。この証明書に限っては、1部は原本、もう1部はコピーで提出してください。

3. 提出期限・場所

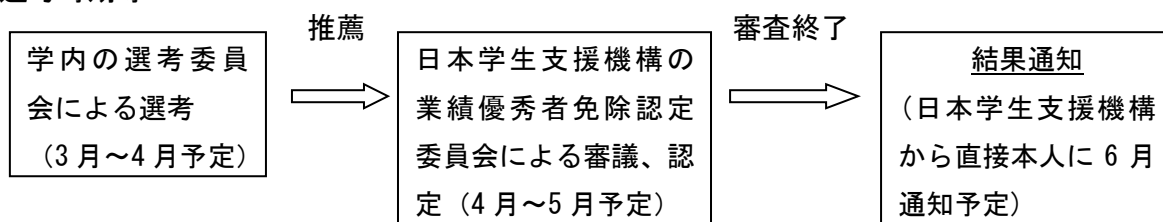
平成31年2月15日（金） 17:00厳守

於：学生支援課（教養教育棟1階、メインストリート側）  
挟間キャンパスは学務課総務・入試グループ

#### 4. 提出書類の組み方



#### 5. 選考時期等



大学から日本学生支援機構に推薦されなかった方には、大学からその旨通知があります。4月下旬の予定です。この通知がなかった方は、日本学生支援機構から結果通知があります。6月の予定です。

奨学金返還のための「リレー口座加入申込書控えのコピー」は、通常の満期予定者と同様、学生支援課（医学系研究科の方は学務課）に提出が必要です。

機関保証制度加入の方は、全額免除が認定された場合は保証料の返金があります。免除認定が確定後、該当者には日本国際教育支援協会からお知らせがあります。保証料の返金は奨学金が振り込まれていた口座かリレー口座に入金されます。

問い合わせ先： 学生支援課（奨学支援グループ）藤田

TEL：097-554-7469

E-mail：syogakss@oita-u.ac.jp